

お知らせ

提供資料先 倉吉記者クラブ

第3回「小鴨川河川整備懇談会」の開催について

天神川水系は昭和40年代までは礫河原が多く見られた河川でしたが、現在では樹木等の繁茂によって、砂礫の河原に生息する動植物が減少や河川景観の喪失が課題となっています。

そこで天神川水系本来の礫河原を再生することによって、河川内の樹林化を抑制し、天神川固有の生態系の再生や河川景観を復元することを目指して、平成19年度より小鴨川中流域(8~9k)において礫河原再生の試験整備を行っています。

この礫河原再生の試験整備は、「小鴨川河川整備懇談会」において学識経験者や地元の方の意見をお聴きしながら行っており、このたび、昨年度に引き続いて第3回を下記のとおり開催します。

今回は、平成19、20年度施工箇所の現地視察、平成19年度施工箇所のモニタリング結果報告、平成20年度施工概要説明、今後のスケジュールについて検討を行います。

記

日時：平成20年12月11日(木) 13:30~16:20

場所：現地視察(13:30~14:00)

小鴨川礫河原試験整備箇所(反土橋上流)

会議(14:30~16:20)

倉吉市関金総合文化センター 2階 小会議室

〒682-0402 鳥取県倉吉市関金町大鳥居193-1

(場所については別紙参照)

その他：報道機関関係者の方は取材を行う場合は、会社名、氏名の記入をお願いします。なお、写真・テレビ等の撮影は冒頭のみとします。

お問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 倉吉河川国道事務所

HPアドレス<http://www.cgr.mlit.go.jp/kurayoshi/>

副所長(技術) ささおか 笹岡 そういち 総一

調査設計第一課長 さかき 阪木 こうじ 浩二

電話 0858-26-6221 (代表)

天神川水系にかつて存在した礫河原の再生を目指します。



昭和40年以前の小鴨川の様子

現在は……

樹林化の進行



河原固有の動植物の減少



イカルチドリ

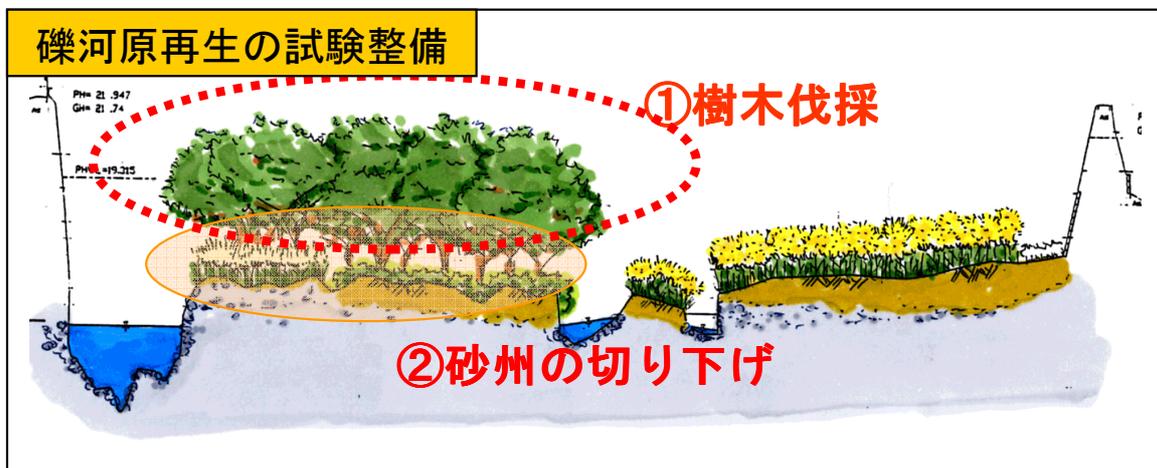
親水性の低下



親水性の低下

【礫河原の再生】

- ・河川内樹林化の抑制
- ・河川景観の復元
- ・河原固有の生態系の再生



○試験整備は、掘削形状や掘削高さ等を変えて礫河原が維持可能な冠水頻度等を検討します。

○施工後モニタリングを行い、今後の整備・維持管理に反映します。

小鴨川河川整備懇談会 委員名簿

区分	役職	氏名
学識委員	鳥取市立逢坂小学校 校長	安藤 重敏
	鳥取短期大学 非常勤講師	國本 洸紀
	鳥取大学地域学部 教授	鶴崎 展巨
	鳥取大学大学院工学研究科 教授	檜谷 治
	倉吉市緑を育て守る審議会 会長	森本 満喜夫
	天神川漁業協同組合長	山崎 賀津雄
	日本野鳥の会 鳥取県支部 役員	吉田 裕
	上小鴨地域づくり協議会 会長	向井 弘志
	上小鴨地区自治公民館協議会 会長	海地 清
	上小鴨公民館長	太田 正史
行政委員	倉吉市建設部長	坂本 操
	国土交通省倉吉河川国道事務所長	日野 和弘

(順不同、敬称略)

会場案内図

別紙

現場視察後、懇談会会場へ移動します。

